

=== Ver. 15.60 変更内容 ===

□仕様変更

- ・動作環境の OS を以下に変更
 - ・ Android 9 / 10 / 11
- ・対応する開発環境を以下に変更
 - ・ Android Studio Arctic Fox 2020.3.1

□精度改善

- ・原稿の回転方向検出の精度改善

□不具合修正

- ・認識対象領域の白黒反転判定処理で、領域が大きい場合に不正に判定してしまう場合がある不具合を修正

=== Ver. 15.52 変更内容 ===

□仕様変更

- ・対応する開発環境を以下に変更
 - Eclipse、Android SDK、Android Studio
- ・対応する動作環境の OS を以下に変更
 - Android 6.0 / 7.0 / 7.1 / 8.0

□不具合修正

- ・ `Layout.getCandInfCount()` が返却する文字数と、`Layout.getCandText()` が返却する認識結果文字列の文字数が異なる不具合を修正
- ・後処理で日本語言語処理を行う場合に、文字認識処理が終了しない場合がある不具合を修正

=== Ver. 15.51 変更内容 ===

□新機能

- ・マルチスレッドでの動作に対応
- ・自動回転の結果として回転角度および回転後画像を保持する `RotateResult` クラスを追加
- ・自動傾き補正の結果として回転角度および回転後画像を保持する `SkewResult` クラスを追加
- ・`ProcMode` クラスで設定可能な動作モードを追加
 - ・再認識の設定
 - ・スピードモードの設定
 - ・イタリック認識モードの設定
 - ・低解像度画像の認識精度向上処理の設定

- ・ルビ認識の設定
- ・取り消し線除去の設定
- ・ノイズ除去の機能を追加

□仕様変更

- ・活字認識ライブラリー Ver. 15. 51 ベースへ変更し、バージョンを 15. 51 へ変更
- ・EngineFactory クラスの getEngineEx() メソッドを廃止し、getEngine() メソッドへ統合
- ・IDREngine クラスを IIDREngine インターフェースへ変更し、一部メソッドの統廃合および名称を変更
- ・RecogCallBack インターフェースを廃止
- ・認識結果を Unicode で扱うかどうかを設定する機能を廃止
- ・RecogInf クラスで取得される認識結果の文字コードを Shift-JIS から UTF-16 へ変更
- ・動作環境として以下の OS に対応
 - ・ Android 7. 0
 - ・ Android 6. 0
 - ・ Android 5. 1
 - ・ Android 5. 0
 - ・ Android 4. 4
 - ・ Android 4. 3
 - ・ Android 4. 2
 - ・ Android 4. 1
- ・動作環境として以下の OS の対応を終了
 - ・ Android 3. 0
 - ・ Android 2. 3
 - ・ Android 2. 2

=====
=== Ver. 1. 03 変更内容 ===
=====

□新機能

- ・レイアウトモード設定機能を追加
ProcMode クラス
レイアウトモード設定メソッド
 - ・ setLayoutMode()レイアウトモード取得メソッド
 - ・ getLayoutMode()

□仕様変更

- ・IDREngine クラスの SetImage() メソッドで画像バッファの受け渡しを ByteBuffer から android. graphics. Bitmap への変更にともない、SetImageEx() メソッドを追加
- ・IDREngine クラスの TrapezoidImage() メソッドで補正後画像の受け渡しを ByteBuffer から android. graphics. Bitmap への変更にともない、TrapezoidImageEx() メソッドを追加

=====
=== Ver. 1. 02 変更内容 ===
=====

□不具合修正

- Layout クラスのコンストラクタで attribute の値が反映されない不具合を修正
 - IDREngine クラスの GetTrapezoidCoordinate() メソッドで不正な値が返される場合がある問題を修正
-

=== Ver. 1.01 変更内容 ===

□新機能

- 台形補正機能を追加
 - IDREngine クラス
 - 原稿領域検出メソッド
 - GetTrapezoidCoordinate()
 - 台形補正処理メソッド
 - TrapezoidImage()
- OCR エンジンで使用するシステム辞書のパス指定が可能な初期化メソッドを追加
 - EngineFactory クラス
 - getEngineEx()

□仕様変更

- IDREngine クラスの SetImage() で画像バッファの受け渡しを byte[] から ByteBuffer へ変更
 - 動作環境として以下の OS に対応
 - Android 4.0
-